



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、Creative Cloud に新しい AI 機能、アシスタント機能、 新モデルを追加しクリエイティブプロフェッショナルを支援

- アドビは Adobe Photoshop、Adobe Lightroom、Adobe Premiere、Adobe Illustrator を含む Adobe Creative Cloud アプリケーションに AI 搭載新機能と最先端 AI モデルを導入。これにより、時間節約と高まるコンテンツ需要への対応を実現し、創造的自由度、コントロール、精度の向上によってクリエイティブプロフェッショナルを支援
- Adobe Photoshop の新しい AI アシスタントはエージェント型 AI を搭載し、ユーザーがクリエイティブのコントロールを維持したまま、AI エージェントに一連の反復作業を指示したり、パーソナライズされた提案や作業のヒントを受け取ったりすることが可能。これにより、クリエイティブプロフェッショナルはより多くの仕事をこなしながら、創作時間の確保が可能に

※当資料は、2025 年 10 月 28 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2025 年 10 月 28 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティブカンファレンス [Adobe MAX](#) において [Adobe Photoshop](#)、[Adobe Lightroom](#)、[Adobe Premiere](#)、[Adobe Illustrator](#) などの主力 [Adobe Creative Cloud](#) アプリケーションに新しい AI 機能と追加モデルを導入することを発表しました。これによりクリエイティブプロフェッショナル

に、さらなる創造的自由度、コントロール、ピクセルレベルの精度が提供されます。これらの新機能には、ワンクリックで画像合成やマスク作成を可能にするツールやアプリ全体にわたるパフォーマンス向上が含まれ、クリエイティブプロセスの各段階で時間を節約し、クリエイティブプロフェッショナルがより多くの仕事に取り組み、世界的なコンテンツ需要の高まりに対応できるようにします。

さらにアドビは、エージェント型 AI を搭載した対話型インターフェイス「Adobe Photoshop AI アシスタント（プライベートベータ）」に加え、[Adobe Express](#) および [Adobe Firefly](#) に導入される対話型クリエイティブエージェントも披露しました。「Photoshop AI アシスタント（プライベートベータ）」は、より高度なコントロール、パワー、そして大幅な時間節約の可能性を提供します。クリエイティブプロフェッショナルは Photoshop web 版内で直接エージェントと対話し、複数のクリエイティブタスクを一括で実行したり、パーソナライズされた提案を受け取ったり、複雑なタスクの達成を支援するチュートリアルを利用したりすることが可能です。また、エージェントへのプロンプトによる対話型指示と、明るさやコントラストを調整するスライダー移動のような、より細かくコントロールできる手動操作との間を簡単に行き来することができます。

アドビのクリエイティブプロフェッショナル向けプロダクトマーケティング担当バイスプレジデントであるディーパスブラマニアン（Deepa Subramaniam）は、次のように述べています。「クリエイティブプロフェッショナルの皆さんが、世界的に高まるクリエイティブコンテンツへの需要がもたらす膨大な経済的・創造的機会を活用できるよう、画期的な AI ツールと AI モデルを主要アプリケーションに統合していきます。Creative Cloud は、AI によってクリエイターにより多くの自由、コントロール、精度、そして時間の節約をもたらすことで、最高のパートナーとなります。」

Creative Cloud アプリ全体に革新的な AI ツールとモデルを統合

アドビはコミュニティの声を反映し、Creative Cloud アプリ全体に AI 搭載の制作・編集ツールを統合しました。これによりプロクリエイターは、クリエイティブプロセスのあらゆる段階でピクセル単位のコントロール、精密なツール操作、時間節約を実現できます。以下は、Creative Cloud アプリに統合された新しい AI 機能の一部です。

- **Photoshop の「生成塗りつぶし」にパートナーモデルを追加：**Google Gemini 2.5 Flash、Black Forest Labs FLUX.1 Kontext などの新たなパートナー AI モデルにより生成塗りつぶしの結果が向上します。また、Firefly Image Model ではシーンの一貫性と視覚的調和を保ちつ

つ、シンプルなプロンプト指示でコンテンツの追加、削除、修正といった精密な編集を行えるようになりました。

- **Photoshop の「生成アップスケール」**：Topaz Labs の AI を活用し、小さな画像や一部だけ切り取られた画像などの低解像度画像をリアルなディテールで 4K 解像度へ変換する、新しい解像度向上機能です。高解像度画像を扱えないモデルからの生成結果を扱う際に特に有用です。
- **Photoshop の「調和」**：AI がオブジェクトや人物と背景が融合したリアルな合成画像の作成をサポートします。合成プロセスの大部分を自動化するため、デザイナーは最終的なディテールの調整に集中できます。調和機能を使えば、オブジェクトや人物の光、色、トーンをインテリジェントに調整してシーンの背景に融合させることができます。
- **Premiere の「オブジェクトマスク」**（パブリックベータ）：ビデオフレーム内の人物やオブジェクトを AI で自動的に識別、分離し、手動でのロトスコープ作業なしで、適用範囲を限定した編集やトラッキングを可能にします。この機能により、動く背景へのカラーグレーディング、ぼかし処理、エフェクトの追加が迅速かつ容易になります。
- **Premiere の「長方形/楕円/ペンマスク」**（パブリックベータ）：ビデオフレーム内の選択領域を特定する高精度なツールです。これにより、ビデオプロフェッショナルは適用範囲を限定した調整、エフェクトの追加、修正をより簡単に行えます。
- **Premiere の「高速ベクターマスク」**（パブリックベータ）：トラッキング速度の向上、双方向トラッキング、3D 遠近法トラッキングを実現するために再設計されたマスクツールです。
- **Lightroom の「アシスト選別」**（早期アクセス）：大量の写真コレクションから最適な画像を迅速かつ容易に特定するための、高度にカスタマイズ可能なツールです。フォーカスのレベル、撮影アングル、シャープネスの度合いなど、さまざまな条件でフィルタリングが可能です。

アドビは最新の Creative Cloud リリースにおいて、100 を超える新機能に加え、パフォーマンスの大幅な向上とユーザーエクスペリエンスの強化を実現しました。特に要望の多かった新機能としては、Adobe Illustrator におけるアートボードやカラー機能の強化などが挙げられます。

最高のクリエイティブツールに業界をリードする AI モデルが結集

アイデア創出から制作、大規模展開までを一体化するオールインワン環境を提供する新しいク
Adobe Firefly により、リエイティブプロフェッショナルは、動画、音声、画像、デザインの各領
域における最先端の AI モデルをアドビのクリエイティブツールのワークフローを離れることな
く、アドビのプラン内で利用できます。アドビの安全に商用利用可能な Adobe Firefly モデル、業
界パートナー各社が提供するモデル、そして新しいパーソナライズ可能な[カスタムモデル](#)の中から
選び、アイデアを形にすることができます。

業界各社からの追加モデル

アドビは Creative Cloud アプリケーション向けに新たなパートナーモデルを提供します。
Photoshop の生成アップスケール機能に **Topaz Bloom** および **Topaz Gigapixel** モデルを搭載しまし
た。また、**Topaz Bloom** と、ナレーション生成に優れた **ElevenLabs Multilingual v2** を Adobe
Firefly に統合しました。これらのモデルは、Google の Gemini 2.5 Flash Image (Nano Banana) お
よび Black Forest Labs の FLUX.1 Kontext と並び、Photoshop の「生成塗りつぶし」でクリエイター
が選択できるオプションとして追加されています。アドビは業界各社の新モデルを Adobe Firefly に
順次追加しており、すでに Black Forest Labs、Google、OpenAI、Runway、Luma AI、
Moonvalley、Pika、Ideogram のモデルが利用可能です。

価格と提供時期

Adobe Photoshop のパートナーモデル搭載の「生成塗りつぶし」、「生成アップスケール」、「調
和」機能は本日より一般提供を開始しています。Adobe Premiere の「オブジェクトマスク」、「長
方形/楕円/ペンマスク」、「高速ベクターマスク」機能はパブリックベータ版として、Lightroom
の「アシスト選別」機能は早期アクセスとして、本日より提供されます。また、本日より「Adobe
Photoshop AI アシスタント」機能（プライベートベータ）は Photoshop web 版にて[ウェイティン
グリスト](#)への登録を開始しました。

12月1日まで、Creative Cloud Pro プランおよび Firefly プランの加入者は、すべての Adobe Firefly
およびパートナーモデルによる無制限の画像生成に加え、Firefly Video Model による無制限の動画
生成をご利用いただけます。Firefly の価格とプランの詳細は[こちら](#)をご覧ください。

アドビの AI への取り組み

アドビは業界で最もクリエイターフレンドリーな AI アプローチを採用しています。そして、AI を人
間の創造性を代替するものではなく、人間のためのツールと捉えており、クリエイターの権利の尊

重を起点とした、責任ある生成 AI 開発は可能であると確信しています。アドビの生成 AI への取り組みに関する詳細は、以下をご覧ください。

<https://www.adobe.com/ai/overview/firefly/gen-ai-approach.html>

Forward-Looking Statements

This press release contains “forward-looking statements” within the meaning of applicable securities laws, including those related to Adobe’s new, enhanced or future AI and product capabilities, innovations and offerings and the expected benefits to Adobe. Each of the forward-looking statements we make in this press release involves risks, uncertainties and assumptions based on information available to us as of the date of this press release. Such risks and uncertainties, many of which relate to matters beyond our control, could cause actual results to differ materially from these forward-looking statements. Factors that might cause or contribute to such differences include, but are not limited to: failure to innovate effectively and meet customer needs; issues relating to development and use of AI; failure to compete effectively; damage to our reputation or brands; failure to realize the anticipated benefits of investments or acquisitions; service interruptions or failures in information technology systems by us or third parties; security incidents; failure to effectively develop, manage and maintain critical third-party business relationships; risks associated with being a multinational corporation and adverse macroeconomic conditions; complex sales cycles; failure to recruit and retain key personnel; litigation, regulatory inquiries and intellectual property infringement claims; changes in, and compliance with, global laws and regulations, including those related to information security and privacy; failure to protect our intellectual property; changes in tax regulations; complex government procurement processes; risks related to fluctuations in or the timing of revenue recognition from our subscription offerings; fluctuations in foreign currency exchange rates; impairment charges; our existing and future debt obligations; catastrophic events; and fluctuations in our stock price. Further information on these and other factors are discussed in the section titled “Risk Factors” in Adobe’s most recently filed Annual Report on Form 10-K and Adobe’s most recently filed Quarterly Reports on Form 10-Q. The risks described in this press release and in Adobe’s filings with the U.S. Securities and Exchange Commission should be carefully reviewed. Adobe undertakes no obligation, and does not intend, to update the forward-looking statements, except as required by law.

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2025 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.